

今回から2回にわたり、「発達障害」についてご紹介いたします。

発達障害の特徴は、乳幼児期から児童期にかけて発症し、主に脳の機能的な問題が原因です。決して、親の育て方や性格の問題ではありません。
2002年の文部科学省の調査では、「学習面か行動面のどちらか、あるいは両方に著しい困難を示す」子どもの割合が6.3%あったということです。

ノーマライゼーション

障害者の生活実態

障害者基本計画

障害者の雇用制度①②③

発達障害
① ②

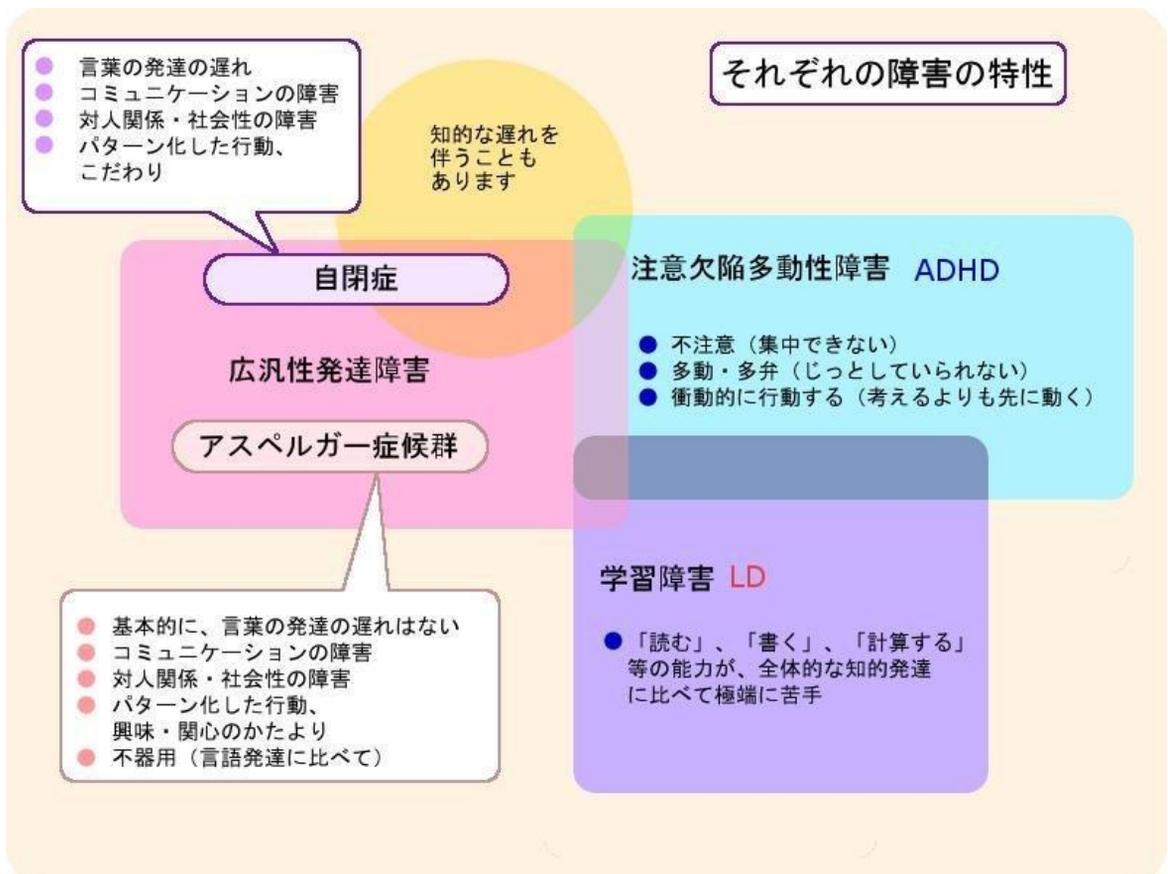
1. 発達障害とは

「発達障害」は「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害、その他これに類する脳機能障害であってその症状が通常低年齢において発現するもの」(発達障害者支援法における定義 第二条より)と定義されています。

これらのタイプのうちどれにあたるのか、障害の種類を明確に分けて診断することは大変難しいとされています。障害ごとの特徴がそれぞれ少しずつ重なり合っている場合も多いからです。また、年齢や環境により目立つ症状がちがってくるので、診断された時期により、診断名が異なることもあります。

2. それぞれの特性

出典:国立障害者リハビリテーションセンター



●お問合せはこちらまで

info@kitawel.com

Welfare

北村 社会福祉士事務所(北村 弘之)
〒226-0016 横浜市緑区霧が丘3丁目7-7
TEL:045-924-1777 <http://www.kitawel.com>